

いぼ痔は切らずに治せるの？  
おしりのトラブル相談室



小原邦彦先生

日本医科大学卒業後、同大学付第二外科入局。その後平塚胃腸病院、ほか都内病院勤務を経て、2003年より社会保険中央総合病院大腸肛門センターに所属。2008年7月おばら消化器・肛門クリニックを開院。日本消化器内視鏡学会認定専門医、日本大腸肛門病学会認定専門医。

【おばら消化器・肛門クリニック】

〒大田区矢口2-11-23 ☎03・3750・8218  
http://www.obara-clinic.com

おしりのトラブルには何かと不安がいっぱい。専門医の小原邦彦先生に、いぼ痔で悩むあなたの疑問をお聞きしました。

おしりに違和感！  
これって痔でしょうか？

排便後の肛門から、いぼのようなもの（痔核）が出てくる方は、いぼ痔の可能性があるのでしよう。これは主に排便時のいきみ、便秘、下痢が原因の疾患で、人によっては痛みや出血も伴います。現在、日本人の3人に1人は「痔もち」と言われており、中でも、いぼ痔は特に多く、妊娠や出産を原因に発症する若い女性もたくさんいます。

いぼ痔は  
危険な病気ですか？

いぼ痔は良性の疾患なので、命に関わったり、ほかの病気を引き起こすことはありません。けれども出血などを放っておくと、似たような症状の大腸癌を見逃さずしてしまふ可能性もあります。特に40代を過ぎると癌の疑いが増してきます。出血の症状がある場合は、1度内視鏡検査を受けることをおすすめします。

いぼ痔の治療は  
痛くありませんか？

専門医に見せると、手術で痔核を切られると考える方が多いのですが、手術に及ぶ症状は1割ほど。8割くらいの方は、薬治療や食事・排便習慣を指導することで改善しています。

症状が進んでいても  
切らずに治せませんか？

「痔核を手で押し込まないと戻らない」「いつも痔核が肛門の外に出ている」という進行した症状にも、現在は痔核に直接注射をするシオン注（ALTA療法）という治療法があります。手術よりも格段に痛みが少なく、時間も費用も抑えられ、回復のスピードも早いので、翌日からはスムーズな排便や、社会生活への復帰が可能です。1年後の再発率は5〜10%と、手術に比べて少し高めですが、治療後にちゃんと生活習慣を改善することで、十分に再発を防止できますよ。



いぼ痔に悩む女性も多い